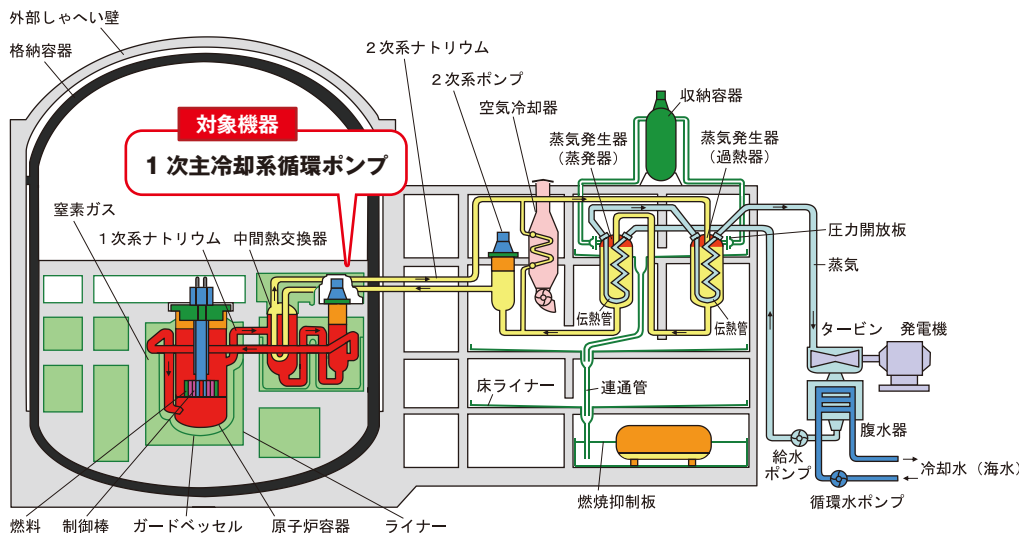




「もんじゅ」のロゴマーク
 智慧の象徴の文殊菩薩が乗って居られる
 「獅子」をイメージしたもの

設備機器類の点検状況

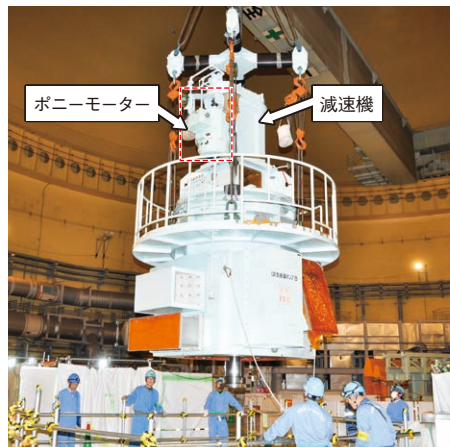
一次主冷却系循環ポンプの設備点検



〈高速増殖原型炉もんじゅ概略系統図〉

循環ポンプ駆動部を
分解し、点検

「もんじゅ」は廃止措置に移行後も、原子炉容器内（炉心）に燃料があることから、一次系ナトリウムをいっしょにだけ循環しています。現在は一次主冷却系循環ポンプの低速運転用のポニーモータと減速機によりポンプを駆動し



一次主冷却系循環ポンプ駆動部

ています。ポニーモータや減速機は多くの部品で構成されていることから、点検ではそれらの部品をバラバラに分解し、構成部品ごとに状態を確認しています。

異常兆候を
見逃さないよう確認

ポニーモータや減速機（約3トン）は重量物のため、点検にはクレーンの使用や、部品を広げる作業エリアも必要となります。また、今回の点検作業期間は約8か月間に及ぶことから、クレーンの使用時期や作業エリア確保についても関係各課との綿密な調整を行い、慎重かつ効率的に作業を進めています。

構成部品の点検では、小さな傷や変形などの異常兆候を見逃さないよう作業関係者とともに繰り返し確認を行っています。また、減速機などは、組み立て時に異物混入等为了避免するため、作

業環境が整っている製作会社の工場で点検します。これからも「もんじゅ」の設備機器類の点検を着実に、「燃料体の取出し作業及び燃料体の処理作業」の安全かつ確実な実施に向けて、万全な準備を進めてまいります。

この研究に携わっている機構職員

さわ まもる
澤 護

敦賀廃止措置実証部門
 高速増殖原型炉もんじゅ
 廃止措置部 電気保全課



2016年に入社後、プラントの運転管理業務を経て、現在は保守管理部門で業務に従事し、主にナトリウム機器の電気・計装設備のメンテナンス業務を担当しています。燃料体の取出し作業や燃料体の処理作業は、多くのナトリウム機器を運転する必要があり、計画通りに廃止措置を進めるには、各設備の健全性の維持が不可欠です。

今後も計画的な設備のメンテナンスを行い、市民の皆様の安全・安心を最優先に、廃止措置作業が進められるよう尽力していきます。